

主な内容

- 一般質問議員と質問項目…………… 1
- 一般質問から…………… 2・3
- 主な質疑…………… 3
- 12月定例会 議案等審議結果一覧…… 4
- 委員会報告…………… 4



那須烏山市 Nasukarasuyama City

# 議会だより

発行

那須烏山市議会

編集

議会広報委員会

事務局

☎0287-88-7114



第25回大木須新そばまつり(平成30年11月24日)

12月定例会が11月30日(金)に  
 招集され、12月7日(金)までの  
 8日間の会期で行われました。提  
 出された議案等の審議の結果は  
 4ページに掲載しています。

※議決された議案の内容など、詳しくは「広報なす  
 からすやま第160号」をご覧ください。会議録は  
 市立図書館と市ホームページで閲覧できます。

- 1 防災教育及び防災研修会・講習会等について
- 2 防災運動会について
- 3 プランディング施策としての応援ソングの制作について



青木 敏久 議員

- 1 平成31年度予算の編成方針について
- 2 本市の合併効果について
- 3 武道館について
- 4 不登校の実態について



中山 五男 議員

- 1 今後の観光振興対策について
- 2 耕作放棄地対策について
- 3 スポーツ施設の充実について
- 4 空き家、空き店舗対策について



村上 進一 議員

- 1 公共施設等総合管理計画の進捗状況について
- 2 歴史・郷土資料の展示について
- 3 市営墓地について
- 4 本市における公共交通網の充実について
- 5 消防団の再編について
- 6 コミュニティ・スクールと地域ネットワークについて



滝口 貴史 議員

- 1 平成31年度の市政運営について
- 2 八溝そば街道そばまつりの開催について
- 3 中心市街地活性化に向けた都市基盤の再生について
- 4 未来に向けた胃がん対策として中学2年生を対象としたピロリ菌の検診について
- 5 中小企業振興基本条例に基づく取り組みの進捗状況について



相馬 正典 議員

- 1 未利用地の利用について
- 2 環境基本計画の推進状況について
- 3 職員駐車場について
- 4 防災減災について



洪井 由放 議員

- 1 まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- 2 本市定員適正化計画と会計年度任用職員制度について
- 3 とちぎの元気な森づくり県民税と森林環境譲与税について
- 4 JR烏山線の利用向上対策と駅舎周辺整備について
- 5 国道・県道・市道を覆う隣接立ち木等の維持管理について
- 6 烏山城築城600周年記念イベントを実施して



平塚 英教 議員

- 1 防災士養成講座について
- 2 男女共同参画について
- 3 新生児聴覚検査について



矢板 清枝 議員

- 1 第3回ツール・ド・栃木に関する市の取り組みについて
- 2 農地及びオペレーター育成について
- 3 大桶運動公園敷地内の用具遊具について
- 4 本市の道路整備及び河川改修進捗状況について



田島 信二 議員

- 1 前例を乗り越えるリーダーシップについて
- 2 清流流れる自慢のまちづくりの取り組みについて



小堀 道和 議員



## 一般質問議員と質問項目(質問順)

※赤字の項目は、本紙2〜3ページに質問と答弁の内容を掲載  
 していますので、そちらもご覧ください。

### 議会の動き

#### 平成30年10月

- 27日○議会だより第50号発行
- 30日○文教福祉常任委員会視察研修(31日まで宮城県遠田郡涌谷町他)

- 経済建設常任委員会

#### 11月

- 1日○議会改革特別委員会
- 6日○経済建設常任委員会意見交換会
- 12日○議会改革特別委員会
- 20日○総務企画常任委員会視察研修(21日まで埼玉県秩父郡東秩父村他)

#### 12月

- 3日○各常任委員会
- 4日○議会広報委員会
- 5日○議会改革特別委員会
- 7日○議員全員協議会

#### 平成31年1月

- 9日○議会広報委員会
- 16日○議会広報委員会
- 18日○議員全員協議会



# 平成30年12月定例会 一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。

## 滝口貴史議員

### 消防団の再編について

(問) 那須烏山市消防団は、現在8分団で構成されている。いざというときに備えて、機動的な消防活動ができるよう、消防団の再編について検討する時期と感じているが市長の考えを伺う。

(答) 平成17年の合併時には、725名の消防団員がいたが、旧町消防団の統合、組織再編を重ね、現在は8分団39部と女性部2部の組織になり、条例定員は629人になっている。団員数はほぼ確保できているが、このうち1割を占める61人は支援団員である。団員の7割は勤め人であり、年齢層も年々高齢化が進んでいる。先に行われた消防団通常点検の出動率も、80%を切り、緊急時の出動等に困難を生じつつあると考える。県内の消防車両及び団員の適正人数状況を調査・研究した上で、本市に見合った消防団組織、消防団員数を確保して消防団の再編について検討する

時期にきている。今後、消防委員会等で議論し、消防団・自治会等との調整を図っていく。



平成30年11月11日に行われた消防団通常点検

## 村上進一議員

### 空き家、空き店舗対策について

(問) 今後、増加が懸念される空き家、空き店舗について、まちづくりの観点からの取り組み方針を伺う。

(答) 平成19年11月から「那須烏山市空き家等情報バンク制度」を実施し、空き家物件の所有者と利用希望者のマッチングを図っており、市のホームページ等で公開している。空き店舗活用については、「那須烏山市空き店舗対策新規出店者開業費用支援補助金」により、出店に要する経費を補助している。本年度は現在までに2店舗が開業した。今後空き家、空き店舗の有効活用により、地域の賑わい創出を図り、本市の定住促進を図る方針である。

(問) 環境美化の観点からの取り組み方針について伺う。

(答) 平成29年1月に「空き地・空き家相談マニュアル」を策定し、所有者への

情報提供や管理指導を適宜、実施している。具体的には、建物や敷地の現地確認を行い、適切な管理がされていないと判断した場合、口頭、文書で適切な管理がされるよう要請している。

中山五男議員

## 中山五男議員

### 不登校の実態について

(問) 県内では年間に30日以上欠席する、いわゆる不登校の小中学生が昨年度2594人に上り、過去最多になったと報じられている。不登校が原因で子供の将来を閉ざすようなことは断じて許されるものではない。

本市の教育振興ビジョンの中に「学校は一人一人に寄り添ったきめ細やかな指導支援に取り組む」とある。そこで、本市の小中学生の不登校の実態と、それを未然に防ぐために学校でとっている方策について伺う。

(答) 本市の不登校児童生徒数は小学生4人、中学生22人、合計26人である。不登校出現率は小学生0.33%(県0.62%)、中学生3.39%(県3.75%)といずれも県平均よりも下回っている。不登校は学年が上がるにつれ人数が増加傾向にある。不登校対策としては、学校では報告、連絡、相談を密に行い、子供達の生活状況を普段からよく観察している。それでも不登校やいじめが起き

てしまっているので、教員に対し今後さらに指導をしていきたい。

青木敏久議員

## 青木敏久議員

### 防災運動会の開催について

(問) 自治会等を積極的に活用し、平常時の防災活動に楽しみながら参加できる環境を作り上げるため、既存の市民運動会の改変も視野に入れた防災運動会の開催について伺う。

(答) 数多くの市民が参加するイベントの中に防災をテーマにした取り組みができれば防災意識の向上にもつながる。来年度からの両地域統一の市民運動会の開催に向け準備しているが、その中で検討したい。

## 平塚英教議員

### JR烏山駅舎周辺整備について

(問) 市はJR烏山駅を拠点に中心市街地活性化事業として都市再生特別措置法

に基づき立地適正化計画を3年かけて策定するとし、市内プロジェクトチーム及び有識者、市民の代表による検討委員会を設置して進める方針だったが、現在の進捗状況を伺う。

(答) JR烏山駅を中心とした烏山市街地の活力が失われつつある中、今後も持続可能な都市としてどのような姿を目指すのか示すために、平成29年から31年度にかけて立地適正化計画の策定を進めている。昨年度は、都市の現状分析と課題抽出を行う、本年度より医療・福祉・商業・公共交通機関等のさまざまな都市機能をどのように誘導すべきか、どの区域に居住を誘導すべきかを検討している。また、市民の意見を計画に反映するためにワークショップ等を開催し、必要に応じて議会に中間報告したい。プロジェクトチームは昨年発足し、何度か会議できているため、市民に策定した案を示し、市民の意見をとりまとめた。



駅前広場で行われたカラセンめぐり市

## 渋井由放議員

### 環境基本計画の推進状況について

(問) 9月定例会の一般質問で焼却炉による産業廃棄物の処理が可能であるかという質問をした。そこで、本市や本市の関係機関が産業廃棄物をどれほど出しているかを把握しなければいけない。どのように処理されているのか伺う。

(答) 本市及び関係機関から排出される産業廃棄物は、大きく分けると医療系廃棄物、排水処理槽汚泥、下水道汚泥、不法投棄ごみ等の処理困難物の4つになっており、各々適正に処理されている。

(問) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律の趣旨から言えば、自ら処理できるのであれば自ら処理を行うというのが基本であると考えられるが、その辺の認識は間違いないか。

(答) 廃棄物は事業所自ら処理する規定になっている。

(問) さまざまな産業廃棄物は、許可を取得すれば自らの炉で処理ができるということではよろしいか。

(答) 適正に処理できる炉であるという申請が通れば焼却することは法律上可能になると考える。

## 相馬正典議員

### 八溝そば街道そばまつりの開催について

(問) 来年度は、開催に対する栃木県からの補助金



多くの人が訪れる八溝そば街道そばまつり

が、時限により交付されないと聞いている。今後、何らかの形で継続していくべきだと考えるかがか。

(答) 八溝そば街道推進協議会としても幹事会等を開き、次年度の開催について検討を重ねている。構成市町の理解を得た上で、当協議会を中心に、開催する方向を進めてまいりたい。

中小企業振興基本条に基づく取り組みの進捗状況について

(問) 中小企業振興基本条例の具体的な取り組みを進めるための指針、商工振興ビジョンのような計画を策定してはどうか。

(答) 中小企業の振興については、まち・ひと・しごと創生総合戦略において新たな産業の創出、基盤産業の支援、就労の支援の指標を設定し、第2次総合計画において商業の振興として各種目標を設定して施策を展開している。商工振興ビジョンの策定は、今後、近隣市町の動向等を鑑みながら調査研究を進めてまいりたい。

## 小堀道和議員

前例を乗り越えるリーダーシップについて

(問) 市民はわがまちが元気で笑顔があふれ、人が大勢集まるようになって欲しいと願っている。そのためには市長はじめ職員のリーダーシップによるルーチン業務の文化から脱却したまぢづくり活動が鍵である。私が勤めていた会社のゴーン社長は逮捕されたが経営能力は超一流で市政においても参考にすべきものがたくさんある。一例として業務改善や改革を目指す際に、業界トップレベルのさらに5〜10%上を目標に設定して取り組むベンチマーキング手法が有効であり、市役所全部署で採用すべきと思う。役所の文化が一変し職員も輝きまちの魅力度も向上すると思うが見解を伺う。

(答) 職員自らが、業務についてベンチマーキング手法などを活用し、改善を図ることは、市政運営の活性化につながるかと考えている。まず行政職員として資質や士気を高めるため、人材育成に主眼を置き、組織一体的に業務改善に取り組みる体制を構築していく。

田島信二議員

農地及びオペレーター育成について

(問) 地域の農地利用を考えるためには、現状の把握が必要である。農地利用最適化推進の利用状況調査で把握している、遊休、耕作放棄地面積を伺う。

(答) 遊休農地は全体で295畝、昨年度より27畝



塩那台での麦刈りの様子

増加した。特に中山地区、志鳥地区、塩那台に絡む畑地が遊休化している状況である。今後、農家の意向調査を行い、遊休農地の発生防止・解消に努めたい。

(問) 高齢のため農業に従事できないが、全ての農機具が揃う農家に対し、農業公社等に働きかけ、人員を派遣することで、オペレーターの育成を促進し本市の農業を救済できるか伺う。

(答) 地域内に担い手がないのは一番の悩みである。市内を6地区に分け、担い手の育成、確保を図っている。現在、217名の担い手が登録し、活躍している。農業公社は、地区内に管理作業請負組織をつくり、効率化を図るため主に水管理、草刈を担っている。この様な仕組みづくりが地域の多様なオペレーター育成につながるかと考える。

矢板清枝議員

防災士養成講座について

(問) 本市でNPO法人日本防災士機構認定の防災士資格取得のための講座を開



南那須図書館に設置された男女共同参画特設コーナー

催してはどうかと思うが、考えを伺う。

(答) 県内では作新学院大学の防災士養成研修講座を一般の方も受講できるため、市として講座を開設するかどうかは、近隣市町の状況を踏まえながら検討していく。

(問) 施策の指針となる「男女共同参画について」

(答) 今年度の取り組みとしては、女性に対する暴力をなくす運動の期間中に、南那須図書館での特設コーナーの設置、市イメージキャラクターによる市役所烏山庁舎前での啓発活動を実施した。また、男女共同参画講座受講費補助制度の継続実施や、関連した各種講座案内を実施している。今後は、市広報による積極的な普及啓発や、市の封筒を活用した男女共同参画推進の表示、男女共同参画フォーラムの実施などを予定している。

主な質疑

12月定例会での議員質疑の中から、主なものを要約して掲載しています。

那須烏山市行政組織及び事務分掌条例の一部改正について

議員 組織改革によって、2課が無くなる。課長を含め、何名削減になるのか伺う。

答弁 2課が廃止になるので、課長2名分は削減になるが、その2名はこれから力を入れなければならぬ国体準備に配置することになるため、総体的には変わらない。



水の供給を行う愛宕台配水タンク

那須烏山市非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

議員 本市の教育委員会委員の報酬額が、今回引き上げてもなお県内市町と比較すると安価のように感じられる。このように検討した理由を伺う。

答弁 改定額を検討するにあたり、財政力や人口規模が近い市町の報酬額等を参考に特別職報酬等審議会で検討した。また、妥当な額にいきなり増額するのは、市民の理解を得られないため改定率を50%上限とした。審議会の答申では適正水準、公正を期するためには、定期的な審議会の開催が望ましいとの意見が付されており、今後は定期的に開催し、見直しを図っていくかと考えている。

平成30年度那須烏山市一般会計補正予算について

議員 道路維持管理費1581万6千円、及びふれあいの道づくり事業費60万8千円の内訳について伺う。

答弁 雪のシーズンを迎える、道路の除雪・排雪の業務1千万円、凍結防止剤、融雪剤等の購入費181万6千円。通常の道路維持管理で路面補修と支障木の処理費400万円、合計1581万6千円を計上。ふれあいの道づくり事業費は地域の方が、事業主体として道路を整備する事業である。今回、那須



市道で作業する除雪車

議員 障がい者介護給付について、当初4200万円で計上していたが、今回1070万2千円の増額した理由について伺う。

答弁 平成29年度分の国・県への更生医療、育成医療、養育医療の償還分である。

議員 簡易水道事業を上水道事業に統合することによるメリット、デメリットを伺う。

答弁 今までも簡易水道事業であっても、水道事業と同じように市民の命を守るということ、水の供給には万全を期していた。今後においても安全な水を供給できるように努めたい。デメリットは無いと考える。

第13回全国市議会議長会研究フォーラム in 宇都宮に参加しました。11月14日、15日に宇都宮市で開催された第13回全国市議会議長会研究フォーラムに本市議会議員が参加しました。議会と住民の関係について、他自治体の開かれた議会等の先進事例などを参考とする研修でした。



研究フォーラムに参加した本市議会議員等

12月定例会の本会議日程と傍聴者数

月 日	内 容	傍聴者数
11月30日(金)	開会・報告・上程・採決・付託	5人
12月 3日(月)	一般質問	12人
12月 4日(火)	一般質問	11人
12月 5日(水)	一般質問	17人
12月 7日(金)	報告・採決・閉会	1人
計		46人

# 12月定例会 議案等審議結果一覧

(全会一致)

議案等	審議結果	議案等	審議結果
議案第8号 行政組織及び事務分掌条例の一部改正について	可決	議案第19号 水道事業設置及び経営基本条例の一部改正について	可決
議案第9号 非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決	議案第20号 老人憩の家設置、管理及び使用料条例の廃止について	可決
議案第10号 市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可決	議案第1号 平成30年度一般会計補正予算(第3号)について	可決
議案第11号 職員給与条例及び診療所医師の給与の特例に関する条例の一部改正について	可決	議案第2号 平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可決
議案第12号 税条例等の一部を改正する条例の一部改正について	可決	議案第3号 平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可決
議案第13号 企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	可決	議案第4号 平成30年度介護保険特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第14号 地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	議案第5号 平成30年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	可決
議案第15号 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部改正について	可決	議案第6号 平成30年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第16号 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部改正について	可決	議案第7号 平成30年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第17号 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	議案第21号 損害賠償の額の決定及び和解について	可決
議案第18号 美しく住みよい環境づくりに関する条例の一部改正について	可決		



町民医療福祉センターで涌谷町職員から説明を受ける委員

**文教福祉常任委員会** 活動報告

当委員会は10月30日、31日に宮城県涌谷町及び東松島市を視察しました。

涌谷町では地域包括ケアシステム構築の取り組みを視察しました。町民一人一人が「安らかに生まれ」「健やかに育ち」「朗らかに働き」「和やかに老いる」をスローガンに、住み慣れた地域でかけがえのない人生を送れるよう、町民医療福祉センターを整備し、保健、医療、介護、福祉の分野を一元化しています。医療福祉連携が大変進んでおり有意義な視察となりました。

東松島市ではコミュニティ・スクールの取り組みを視察しました。コミュニティ・スクールは文部科学省が推進する「地域と共に育つ学校づくり」で、本市でも現在導入を検討しています。先進地である東松島市では全ての学校でコミュニティ・スクール化が図られており、本市導入に向けて大変参考になりました。

委員長 滝口 貴史



東秩父村職員に説明を受けタブレットを操作する委員

**総務企画常任委員会** 活動報告

当委員会は11月20日、21日に視察研修を実施しました。防災対策研修として埼玉県東秩父村を訪れました。既設放送設備が使用不可となった4年前に、防災情報通信システムとして全世帯(約1000世帯)にタブレットを無償貸与し、災害に強い村づくりを進めています。経費や高齢化の面で、本市で採用するには検討課題が多いと感じました。

2日目に、過疎化の進む群馬県南牧村を訪れ、死活問題の定住促進活動について伺いました。国の助成金を活用し古民家を整備するなど若い家族が住みやすい条件づくりを行っていただきます。定住希望者とは村長自ら面談し、働く場所や村民との付き合いなどについては担当職員2名が寄り添いながら対応し、年間6名の定住者目標を数年達成しています。2日とも参考となる有意義で充実した研修でした。

委員長 小堀 道和

## 議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。(☎0287-88-7114)

## 議場コンサートを開催します

日時…3月4日(月)午前9時30分から  
(定例会 本会議開会前)

場所…市役所南那須庁舎3階 議場

内容…烏山高等学校吹奏楽部による木管四重奏、サクソフォン四重奏

曲目…フォルモサの風、ゴスペル・メドレー(アメージング・グレース、アイ・ウィル・フォロー・ヒム)

入場無料、事前申込不要です。皆様のご来場をお待ちしております。



## 12月定例会において審査された請願・陳情

番号	件名	紹介議員	審査結果
陳情書第2号	難病医療費助成制度の改善を求める国への意見書提出について	なし	不採択
陳情書第3号	患者負担を増やさないことを求める国への意見書提出について	なし	不採択

## 3月定例会は、2月26日(火)開会予定です。

正式な日程は2月20日(水)に開催される議会運営委員会で決定されます。



平塚議員と贈呈された感謝状

**表彰**

10月26日に地方議会の議員として35年以上にわたり在職し、地方自治の発展に顕著な功労があったと認められ、総務大臣より平塚英教議員に感謝状が贈呈されました。

## あしがき

市民の皆様。明けましておめでとうございます。平成もあとわずかとなり、思いつくのは、やはり東日本大震災です。亡くなられた方が1万5000人以上、今年の3月でまる8年となる今でも、2500人以上の方が行方不明のままです。その他にも数多くの災害が起き、多くの方が犠牲となっています。どうか次の時代は大きな災害が起きないことを祈ります。

さて、昨年4月に市議会議員選挙があり、私も含め6名の新人議員が加わりました。年齢構成は30代から80代と幅広く、多様な意見が議会に届くことと思います。現在、那須烏山市は多くの課題を抱えています。中でも人口減少は大きな問題です。これからは、若い子育て世代に定住して頂く政策が必要です。財政が厳しいので何も出ませんが、市民の士気が上がりません。魅力ある、子育てしやすい、そして住んで居てワクワクする那須烏山市にしたい。その為にも、市民、議会、川俣市長以下、市の職員の皆が、一致団結して、新時代の那須烏山市に向け努力していきたいと思っております。

(堀江清一議員)